



消防だより 119

洞爺湖消防団

秋季消防演習を実施

洞爺湖消防団(団長寺島勉)では、10月19日午後4時より洞爺湖町役場洞爺総合支所において、秋季消防演習を実施しました。

演習では、「調理室から出火した」との想定で、消防車と救急車が出動。日頃の訓練の成果を十分に発揮し、消防職・団員による指揮命令が的確に伝達され、連携のとれた消防活動訓練が行われました。

式典では、来賓の方々から日頃の消防活動に対する慰労の言葉を頂き、無事に演習を終了することができました。



秋季消防演習を実施した洞爺湖消防団

取り付けましたか？住宅用火災警報器設置は義務です

平成23年6月から全国の市町村において、すべての住宅に住宅用火災警報器の取り付けが義務付けられています。北海道の6月時点での推計普及率は72.5%となっており、約4軒に1軒のご家庭でまだ設置されておらず、法令違反の状況です。警報器を取り付けることで助かる命があります。火事は決して他人事ではありません。万が一に備え必ず設置しましょう。

わからないことや質問がありましたら、洞爺湖消防署(☎76-2119)・温泉分署(☎73-1119)・洞爺分署(☎87-2119)へご相談ください。また、西胆振消防組合や洞爺湖町のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

台風12号の被災地へ

義援金寄託

9月29日、洞爺湖消防署の外



義援金を寄託した洞爺湖温泉1区婦人防火クラブの皆さん

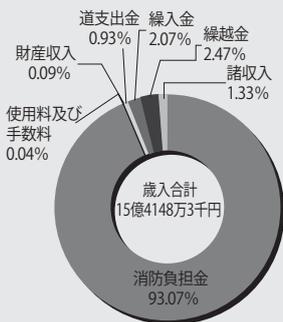
西胆振消防組合平成22年度決算概要

平成22年度西胆振消防組合決算概要をお知らせします。歳入では、歳入グラフのとおり自主財源の消防負担金が最も大きく、構成4市町の規模(人口割、財政割)及び均等割により負担率が決められています。

歳出では、歳出グラフのとおり給与費が最も大きく、その他の歳出は主に消防本部、各消防署(支署)の活動経費に充てられます。

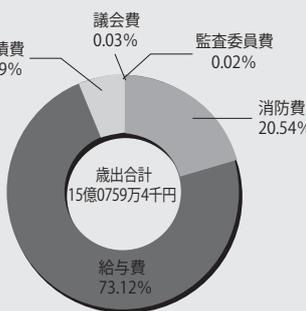
西胆振消防決算概要については、西胆振消防組合消防本部総務課(☎0142-21-5000)までお問合せください。

単位:千円



【歳入】	1,541,483
1. 消防負担金	1,434,629
(内訳)	
伊達市	673,812
洞爺湖町	391,440
豊浦町	221,894
壮瞥町	147,483
2. 使用料及び手数料	588
3. 道支出金	14,330
4. 財産収入	1,382
5. 繰入金	31,857
6. 繰越金	38,155
7. 諸収入	20,542

単位:千円



【歳出】	1,507,594
1. 議会費	430
2. 監査委員費	238
3. 消防費	309,633
4. 給与費	1,102,416
5. 公債費	94,877

高齢者住宅の防火査察を行う

洞爺湖消防署及び洞爺湖消防団では、町内の独り暮らしの高齢者宅などを訪問し防火査察を実施しました。毎年寒さが一段と厳しくなる冬を前に、消防職員と女性団員で、ストーブやガスコンロなどの火気を使用する

会長)、洞爺婦人防火クラブ(木村洋子会長)も同消防署に義援金を寄託しました。義援金は、財団法人日本防火協会を通じて被災地へ送られました。

統一標語
消したはず
決めつけしないで
もう一度

fire

平成23年1月31日現在
10月31日現在

● 火災件数 4件
● 救急件数 405件

器具周りの点検を行っており、住宅用火災警報器の設置確認も併せて実施しました。